

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)活動報告書

R7年(2025年)3月23日

設置の経緯と目的

開発から40年以上が経過し、高齢化が進む鹿ノ台において、まちづくりの中長期的な課題に対応するための特別委員会として、自治連合会にて「鹿ノ台未来まちづくり会議」の設置が決議された。メンバーは連合傘下の各委員会からの推薦と一般公募から選考した。未来会議の目的は、①中長期的な課題を抽出し、②まちづくり中期計画を策定、③事業の優先順位を決め、実行計画を作成、④事業を実現させる、と定められた。

未来まちづくり中期計画(案)骨子の策定と分科会の設置

R3年3月に17名のメンバーにて発足した未来会議は R3年10月、未来まちづくり中期計画(案)骨子を発表した。「みんなでつくる、住みたくなるまち 鹿ノ台」を標榜し、5つの基本目標(①安心・安全・防災のまちづくり、②子育てしやすいまちづくり、③花と緑豊かな癒しのまちづくり、④高齢者にやさしい支え合いのまちづくり、⑤交流・賑わい・文化の香りのあるまちづくり)を定めた。このうち、②子育て、④高齢者、⑤交流・賑わいの3つについて、分科会を設置し、優先して事業を行っていくこととした。

子育て分科会の活動

鹿ノ台放課後子ども教室にじ：子どもたちの「居場所づくり」の一環として、R4年度より、鹿ノ台小学校にて、「放課後子ども教室」(年間30回・定員30名)を実施している。参加児童は、地域の大人や学生に見守られ、宿題やゲーム・運動・工作などを楽しんでいる。*生駒市の委託を受け、独立運営。

「子育てするなら、鹿ノ台」チラシの配布：転入促進を目的に、子育て世代に向けて鹿ノ台の魅力を発信するチラシとウェブページを作成した。チラシは、近隣の不動産事業者や幼稚園・保育園等で配布していただいております、これを見て転入を決めた方もいらっしゃる。

鹿ノ台中央公園をもっと楽しむためのアイデア募集とワークショップ：R5年、世代間や子育て世代の交流機会を増やすため、鹿ノ台中央公園の利活用に関する「アイデア募集」と「ワークショップ(話し合い)」を実施した。ワークショップ参加者によるプール持ち寄りイベント、水鉄砲バトル、フリーマーケット(オータムフェスタ)、フォトブース(春まつり)、お菓子つかみ(春まつり)、ストラックアウト(春まつり)、未就学児プール遊び、お月見&手作りランタン、などのイベントが実現した。

交流・にぎわい分科会の活動

森のコンサート：納涼祭のようなイベントを春にも実施したいと考え、R4年4月、「森のコンサート」を開催した。コンサート、お花見会、キッチンカー、マルシェなどを約800人が楽しんだ

鹿ノ台春まつり：R6年3月、鹿ノ台の春の風物詩となるようなイベントを目指して実施した。コンサート、キッチンカー、フリーマーケットやマルシェ、ゲーム大会、鹿ノ台のサークル活動の発表の

場などを設け、約1500人の住民が参加した。R7年3月末には、混雑を極めた前回は反省し、キッチンカーの台数を増やし、開催時間も延長して第2回春まつりを実施し、約1500人が参加した。

高齢者分科会の活動

支え合い委員会の発足と「困り事サポート」冊子の配布：心身の不調による「困り事」を抱える住民が増えるなか、アンケートやヒアリングによるニーズ調査、自治会関係者の話し合いを行い、R5年4月、連合傘下に「鹿ノ台支え合い委員会」を発足させた。委員会では、住民のさまざまな「困り事」を解決するため、「困り事サポート」の冊子を作成し、R5年6月に鹿ノ台の全世帯に配布した。現在、必要とする住民に対してボランティアメンバーがさまざまなサポートを提供している。

脱炭素まちづくり

自然エネルギーを活用したまちづくりを進めるための勉強会を開催してきた。生駒市が国の「脱炭素先行地域」に選ばれたため、今後は、これに対する連合会の対応を側面からサポートしていく。

鹿ノ台未来まちづくり会議の解散

これまで未来会議は、3つの分科会を通じて上記のような活動を行い、一定の成果を残した。今後、鹿ノ台の自治会・連合会のあり方を討議していくにあたり、5年、6年先のような鹿ノ台を実現するか、これを担っていくべき次世代が中心となる必然性が提起された。これを受けて未来会議はR7年3月、年度末に解散することが決議された。

未来会議には当初、20～50代のメンバーがいたが、その多くが転勤や多忙を理由として退任された。会議進行が必ずしも若い世代の納得のいく形になっていなかったようにも見受けられた。そのため、若い世代が自治会活動に積極的に参加していけるよう、オンラインでのチャットやミーティングを取り入れる、民主的で効率的な会議運営を心掛けるなど、次の世代のメンバーの間で話し合って納得のいく形を模索していただければ有難いと思う。

書式を変更: フォントの色: 自動